

FUSION



THE BUS+

日本版 ベーシックユーザーガイド

Solid State Logic

Color; LOW THD, F/B, 4K MODE

THE BUS+ は4種のサウンドカラーーを切り替えることができます。

通常では現行のコンソールに搭載されている SSL Bus Compressor と同じクリアでパンチのあるサウンドを提供します。 4K MODE では厚みのあるヴィンテージドライブ感を加えたサウンドへ変化します。 (ドライブ量は可変できます) F/B は、コンプレッションの特性を変化させることで SSL Bus Compressor サウンドとはまた違ったより緩やかなコンプレッサーサウンドを提供します。

LOW THD は低周波の歪みを低減し、よりクリーンで透明感のあるシャープなボトムエンドを実現します。

MODE

CLASSIC STEREO : ステレオバスコンプレッサーとして機能します。

一部の機能を除きパネル左側のみでコントロールします。

ΣS/C STEREO: サイドチェイン信号の L/R を合算します。

DUAL MONO: 2系統のモノラルコンプレッサーとして機能します。

MID SIDE: ステレオ素材から MID/SIDE を生成し、エフェクト処理をします。

POST D-EQ

コンプレッサーをD-EQの後ろ にもってくることが可能

SIDECHAIN HPF

サイドチェイン信号用ハイパスフィルター。

MAKE-UP

コンプレッションにより変化した レベルを補正します。 FINE モードではより 細かいレベル補正が可能に。



RATIO

これまでの SSL Bus Compressor に加え、 より精密な作業を可能にする < 1.3:1/1.5:1 > より過激なサウンドを提供する < -2.5/-1.5 /-0.5 > のレシオ値を新たに搭載。

MIX

DRY / WET 量をコントロール、 パラレルコンプレッションが可能に。

RELEASE

従来の 100ms short / 12s long の AUTO 1 に加え 50ms short / 6 s long の AUTO2 を装備。 0.05s(50ms) の値も追加。

D-EQ

2 バンドのダイナミック EQ。 左へ回すとコンプレッション、 右へ回すとエキスパンドします。 周波数帯域、レンジの設定も可能です。

D-EQ

ベルの選択が可能。

HF,LF ともに通常 ATT 3ms / REL 50ms の アタックとリリースを FAST (ATT 1ms / REL 50ms) もしくは AUTO ATT 10ms / REL AUTO) に切り替え可能。 HF カーブをシェルビングもしくは

LF GAIN

D-EQ でコンプレッションした低域の レベルを補正。 G-series モードではゲインカーブが

G-series モードではゲインカーブが 変更できます。ステレオモード時には HF ゲインも補正可能です。

EXTERNAL SIDECHAIN

外部サイドチェインの On / Off。 Compressor もしくは D-EQ どちらに

適用するか選択可能。

入力 (XLRメス)

外部サイドチェイン信号入力(XLRメス)

電源スイッチ



XLR - INPUT (FEMALE)

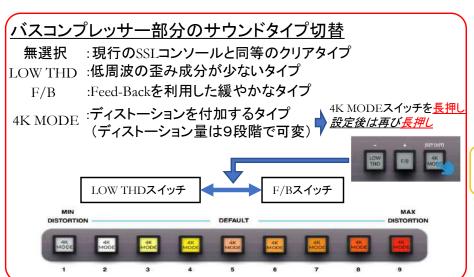


出力(XLRオス)

サイドチェイン信号出力:EQ などの外部プロセッサーと接続し、外部サイドチェイン信号入力 (EXT S/C IN) へ入力することで外部プロセッサーで処理された信号を THE BUS+ のサイドチェイン信号とすることができます。

また、MID SIDE モード時にはエンコードされた MID/SIDE 信号が出力されます。

バスコンプレッサーをCLASSIC STEREO or Σ S/C STEREO で使用(Dyanmic-EQは後述)



MODE切替

CLASSIC STEREO:ステレオのバスコンプレッサー

∑S/C STEREO :L/Rのサイドチェイン信号が合算→モノラル成分(Bass等)により反応

DUAL MONO :2系統のモノラルコンプレッサー

MID SIDE :ステレオ素材から MID/SIDEを生成して処理

バスコンプレッサーと Dyanmic-EQをバイパス





THRESHOLD

-20dB~+20dB**で可変**

<u>RATIO</u>

1.3/1.5/2/3/4/5/10/20/

-2.5/-1.5/-0.5

信号のレベルがスレッショルドを超えると、 スレッショルド以下のレベルまで下げる設定

ATTACK

 $0.1 \text{ms} \sim 40 \text{ms}$

RELEASE

リリースタイム:50ms~1.2 秒 に加え AUTO 1(100msショート,12秒ロング) AUTO 2(50ms ショート,6 秒ロング) 大きい信号→ショートリリース 小さい信号→ロングリリース

MAKE-UP

コンプレッション後のレベル調整: -10dB~+20dB

ボリュームを<u>長押し</u>

FINE **モード**(0.5dB**の微調整**)

MIX

DRY/WET**のバランスを**調整 パラレルコンプレッションも可能

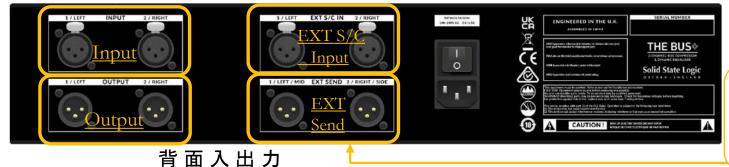
S/C HPF

サイドチェイン信号のHPF:10Hz~300Hz

<u>Push</u>で背面のEXT サイドチェイン 、入力を使用可

バスコンプレッサーをDUAL MONO/ MID SIDEで使用(Dyanmic-EQは後述)





この出力をEQなどの外部プロセッサーに入力し、 処理後の信号をEXT S/C INに戻すことができます。

MID SIDEモード時はエンコード後の MID/SIDE信号が出力されます。

MODE: CLASSIC STEREO STEREO Dynamic- EQ (2-Band) - CLASSIC STEREO • Σ S/C -バイパス及びMODE切替 使用しません バスコンプレッサ Range Solid State Logic THE BUS® LF GAIN(± 10 dB) HF GAIN(±10dB) LEDが赤点灯 Dynamic-EQ(STEREO時) 押すとLFのGAINカーブがGシリーズに変更(LFのみ) LEDが緑点灯 HF BELL: HFのフィルタータイプをシェルフからベルに変更し周波数ポイントも変更 LF/HF横のLED→COMP/EXP量の目安 UE D-EQ HE HF FAST: **薄く点灯**→Attack 3ms/Release 50ms 緑のLEDは0.5dBで点灯し始め 押すと白に点灯→Attack 1ms/Release 50ms 5dBで完全に緑 長押しで紫に点灯→ Attack 10ms/Release AUTO 10dBはオレンジ 15dBは赤 LF FAST: **薄〈**点灯→Attack 30ms/Release 100ms 押すと白に点灯→Attack 10ms/Release 50ms LF/HFを 軽く押すと 周波数変更 長押しで紫に点灯→ Attack 10ms/Release AUTO Dynamic EQOON/OFF Range変更 長押し リダクションメーターが点滅 RANGE ■変更後は再び長押し LF dB この表示では4dB Hz HF HF BELL kHz kHz

MODE: DUAL MONO MID SIDE Dynamic- EQ (2-Band) * HF GAINは操作できなくなります - DUAL MONO • MID SIDE -バイパス及びMODE切替 バスコンプレッサー バスコンプレッサー 1chまたはMID Range 2chまたはSIDE Solid State Logic THE BUS D-EQ(1chまたはMID) D-EQ(2chまたはSIDE) LF GAIN(±10dB)2chまたはSIDE LF GAIN(±10dB)1chまたはMID/ 押すとLFのGAINカーブがGシリーズに変更(LFのみ) 押すとLFのGAINカーブがGシリーズに変更(LFのみ) LEDが緑点灯 2chまたはSIDE 1chまたはMID LEDが緑点灯 LF/HF横のLED→COMP/EXP量の目安 D-EQ HE 緑のLEDは0.5dBで点灯し始め 5dBで完全に緑 10dBはオレンジ 15dBは赤 周波数変更 少しアンダーシュートします LF/HFを 軽く押すと HF BELL: HFのフィルタータイプをシェルフからベルに変更し周波数ポイントも変更 Dynamic EQOON/OFF HF FAST: 薄く点灯→Attack 3ms/Release 50ms 押すと白に点灯→Attack 1ms/Release 50ms 長押しで紫に点灯→ Attack 10ms/Release AUTO LF FAST: **薄く点灯**→Attack 30ms/Release 100ms LF <u>長押し</u> 押すと白に点灯→Attack 10ms/Release 50ms 長押しで紫に点灯→ Attack 10ms/Release AUTO リダクションメーターが点滅



変更後は再び 長押し

HF



HF **BELL**



Range変更







この表示では4dB

D-EQ Frequency Points

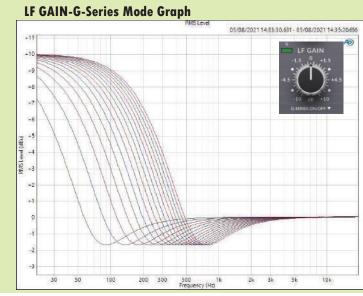


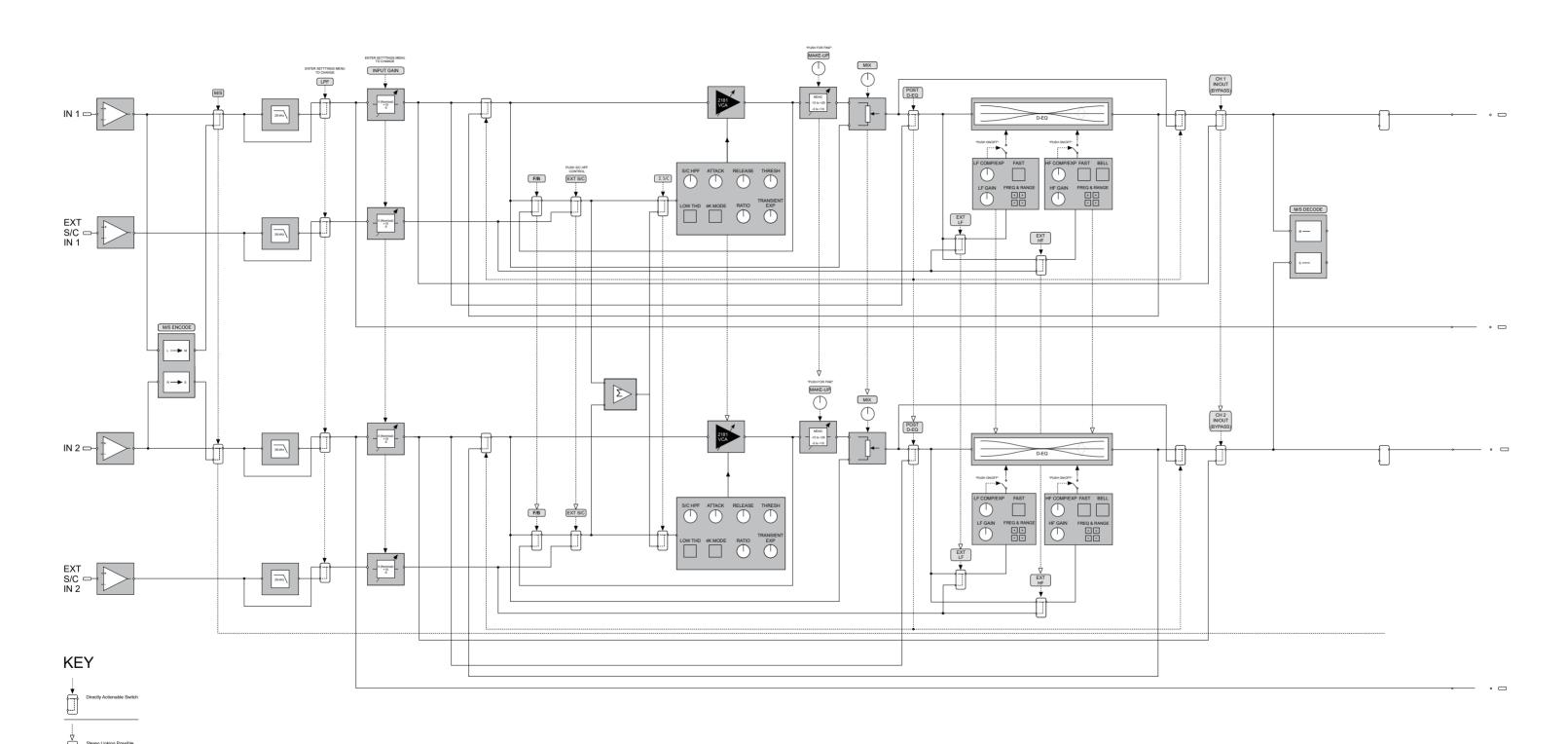




D-EQ RANGE







THE BUS[⊕] トランジェント・エキスパンダーの起動の仕方

THE BUS+ 搭載のトランジェント・エキスパンダーは通常では起動しません。 下記の方法で起動させてください。

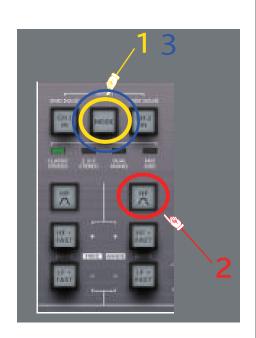
電源がオフの状態で MODO を押しながら本体の電源を入れます。 これにより本体設定モードになります。





2

右側の HF BELL を2秒間押し続けます。 HF BELL が緑色に点灯した状態にします。





3 もう一度 MODE を長押しします。 これにより本体設定モードが解除になり、 トランジェントエキスパンダーが通常使用できるようになります。



トランジェントエキスパンダーの使い方。

HF ベルスイッチを緑色に点灯するまで押し続けるとトランジェントエキスパンダーが起動します。トランジェントエキスパンダー起動時、D-EQ のHF コントロールは使用できなくなります。 代わりに HF コントロールノブはトランジェント・エクスパンダー・コントロールとして機能します。
'0'(12 時)の位置から時計回りに回転させることにより、トランジェントエキスパンダーが増大します。

'0'(12 時)の位置から反時計回りは機能しません。 HF コントロールノブ を押すと、トランジェント・エキスパンダーのオン / オフが切り替わります。

HF の LED は、緑 - 橙 - 赤に点灯し、アクティブ時に どの程度エキスパンドされているかを示しま す。 HF ベルスイッチを緑色に点灯している状態で いちど押すことでトランジェントエキスパンダーが外れます。

Solid State Logic

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

© Solid State Logic. All Rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions. Solid State Logic and SSL are trademarks of Solid State Logic. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Oxford, England. Solid State Logic has a policy of continual product enhancement and reserves the right to alter specifications without notice. E&OE

日本語版 2022 © Solid State Logic Japan K.K. 実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

www.solid-state-logic.co.jp